

平成30年12月26日

松本市議会議長
上條 俊道 様

松本市議会議会運営委員会
委員長 柿澤 潔

議会運営委員会行政視察報告書

議会運営委員会行政視察を実施しましたので、その概要について報告します。

記

1 期 日

平成30年10月9日（火）から10日（水）までの2日間

2 参加者

議長、副議長、議会運営委員9人、事務局随員2人 計13人

3 視察先

- (1) 埼玉県所沢市議会
- (2) 埼玉県新座市議会

4 調査項目

- (1) 埼玉県 所沢市議会
 - ア 議会報告会について（実施状況、課題とその対策）
 - イ ワールドカフェ「みみ丸カフェ」について（実施状況、課題とその対策）
 - ウ 議会評価について（実施状況、課題とその対策）
 - エ 専門的知見の活用について（実施状況、課題とその対策）
 - オ 議会施設について（議場・委員会室・会派控室など諸室及び設備等の視察含）
- (2) 埼玉県 新座市議会
 - ア 新庁舎議会施設について（議会施設の視察含）
 - （ア）施設の計画、設計に当たっての市議会の関わり方（要望等）
 - （イ）施設整備の基本方針・設計方針
 - （ウ）各施設（諸室）の概要（面積・設備等内容）

5 概要

(1) 埼玉県所沢市議会

ア 議会報告会について（実施状況、課題とその対策）

イ ワールドカフェ「みみ丸カフェ」について（実施状況、課題とその対策）

ウ 議会評価について（実施状況、課題とその対策）

エ 専門的知見の活用について（実施状況、課題とその対策）

オ 議会施設について（議場・委員会室・会派控室など諸室及び設備等の視察含）

(ア) 日時 10月9日（火）13時30分～15時30分

(イ) 対応者 荻野議長、石本議会運営委員長、城下広報広聴副委員長
大石第6次所沢市総合計画特別委員長、松本主査

(ウ) 事業の背景・概要・課題及びそれに対する所感

市域72, 11km²、人口34万人、議員定数33人。

所沢市議会においても議会基本条例を当市と同じ時期に施行して、10年目となる。議会報告会についても10周年記念事業として取り組んでいきたいとしています。

議長、委員長の挨拶と自己紹介の中で、松本市の「健康寿命延伸・松本の創造」への視察や山やお城などに訪れていただいたことをお聞きして、うれしい気持ちになりました。

議会報告会については

5月と9月に市内二か所ずつ年4回の報告会を実施している。

33人の議員が1班8人編成で行っている。

所属委員会のバランスを取って構成している。

3月に予算委員会が開かれ、ここに所属した議員が5月の報告会を担当する。

議員は、年一回報告会を行えばいいことになる。

参加者の傾向は、最大80人を記録したが、回を重ねるごとに参加者が減少していき詰っている。近年では20～30人程度である。

年代は60過ぎの男性の方が多い。

ベットタウンとしての悩みの部分が出ているとしている。

報告30分、質疑20分、休憩を挟み市民との意見交換をする。全体で2時間未満としている。

開催日時は土曜日の14時から16時までと水曜日19時から21時までとしてきた。

夜間であっても若い人と女性の参加は少ない。

行政区が11あり、松本市の地区公民館と類似した「街づくりセンター」に備えられたホールを会場として全センターを回ることにして

みたが、なかなか人が来ないので、市役所の会議室と地区センターと組み合わせて交互に開催することにした（結果はこれから）。

事務局作成のパワーポイントを使用。意見交換については質疑への準備は内容を予想して答弁のシナリオを用意。

課題留意点については

会場の前に立って説明形式を行ってきたが近年はワールドカフェ形式で意見を出していただき担当する議員が内容をまとめる（長く話す人、専門的な話をする人に阻害されないように）。この形式は市民に好評である。（1テーブル8名前後）。

出された意見に対する対応は、「意見の行政への橋渡し・進行の様子を見る・聞置く・調査依頼」に仕分けて対応する。

どんな形式であっても行き詰るときは来るので、常に研究していないと感じた。

ワールドカフェ「みみ丸カフェ」について

今年度2回目の開催をした。

議会報告会との違いは参加者の年齢層。無作為800名の20代～50代の市民に案内状送付、これによる参加者は30名であった。高校生にも参加を呼びかけ。早稲田大学とパートナーシップを結んでいて、教授、学生に協力を依頼。

若い世代との意見交換には、スーツはやめてTシャツを作成、茶娘姿の議員も。

議員は前回選挙では新人が2人で、比較的報告会には慣れているが、議員も学生もファシリテーター研修を受けている。まとめ役が前に出すぎず意見を多くいただくために効果のある研修。

ここで出された意見は、タックシールに書き出し掲載。行政への繋ぎや議会での検討などは無い。

開催時期の設定が学校行事や休日と議会日程との間でたいへんに難しいとのこと。

議会評価については、平成21年より開始。議運での委員の発言に「事務事業評価の中の「議会事務局の評価」については誰が書いているのか」という事がきっかけとなった。

「事務事業評価に意見を言っている議員が議会事務局の評価をしなくていいのか」という発想から始まった。

議会運営委員会の視察が評価対象に掲げられたが、予算2泊分で行ってきたが1泊分に減額された。議会のICT化を目指すこともあって、その必要性を記載した。広報公聴委員会の予算などにも評価を付けた。

自分に甘いとの批判を受けないために、

所沢市議会は、政策研究審議会を常設してある。(委員4名で構成、法政大教授、防衛医大教授、早稲田大学教授、元副市長) 外部評価を受けている。専門的知見の一つでもある。

専門的知見の活用は

平成19年から始まり過去6回行っている。所沢の農業について委員会で行った。講師謝礼は5万円(議会の委嘱)。他の講師により2回。

議員定数審議会を議会で設置(有識者2名知識者2名公募1名)。専門的知見の予算35万円の中から謝礼をした。3回の審議会開催。

議場施設については

気が付くことは、傍聴席が高すぎて、恐怖感がある。車いす席と難聴者のためのイヤホンが使える傍聴席は感心した。

質問席が議員席最前列の中央にあり、後ろは通路となって空いている。テレビ配信の関係の配慮がされていて見習った設計ができたと思います。

(2) 埼玉県新座市議会

ア 新庁舎議会施設について(議会施設の視察含)

(ア) 日時 10月10日(水) 10時~11時35分

(イ) 対応者 島田議長、議会事務局 島崎事務局長、佐藤議事係長、猪鼻氏、新庁舎建設推進室 狩野氏

(ウ) 施設の概要・課題及びそれに対する所感

市域22キロ²。人口16万人。議員定数6名

島田議長は、松本市議会に埼玉県朝霞地区議長会として「議会改革」の視察に来られ、また、以前にも「参加型環境教育、食品ロス削減」などの視察に見えている。園児向けの紙芝居は早速新座市でも取り組んだとのこと。

平成30年1月新市庁舎供用開始。用地が確保されていて、建設、引っ越し、解体と手順良く進行した。

東京都のベットタウンとして発展。昭和45年市制施行。現在はドーナツ化現象あり。紅葉の名所平林寺に隣接し、緑豊かな環境にある。2020年オリパラにはブラジルのホストタウンとなっている。朝霞駐屯地での射撃競技が予定されている。

新庁舎議会施設について

施設の計画、設計については新庁舎建設特別委員会を設置。

旧庁舎は昭和49年に建設。平成23年東日本大震災後に耐震診断をした結果、震度6強~7で倒壊の恐れありとの結果を受けて、耐震補強か大規模改修か二案を検討してきた。

耐震補強では、バリアフリーへの対応不足、事務室の狭隘などの抜本

的な解決が図れない。工事期間中の業務を行うためには仮設にしても別棟が必要。

補強工事をして20年後には改築が必要になる。

工事費は新庁舎を建設しても大きな差が無い、などから安心と狭隘の解決のため、新庁舎建設が決定した。地上5階。

議会では、「市庁舎耐震化整備に関する特別委員会」と「新庁舎建設検討委員会」を設置して、議会フロアを中心に新庁舎建設の設計に向けた意見・要望を市に行った。

- ・傍聴席との高低差を少なく。
- ・傍聴席は議員の後方へ
- ・新たに質問席を設置
- ・電子投票システム、議会とフロアにWiFi配備、電源コンセント、障がい者にやさしい設備とする、スクリーン、モニター設置。
- ・車いす対応議席
- ・防音が施された親子傍聴室
- ・議会関係1フロアに設置して4常任委員会を同時開催可能にする。
- ・会派人員構成の変化に対応できる会派控室の間仕切りとする。
- ・委員会室は多用途にも対応できる構造とする。
- ・議員控室のセキュリティ確保。

などを要望してきた。そして「議員控室」から「議員室」に変更することによって執務を可能とした。

来庁舎に配慮してエレベーターに近いところに議会事務局を配置して、正副議長室への入り口となり事務局執務室は議場とも繋がっている。

個室の相談室を2か所設置。図書室を改め図書コーナーとしてホワイエに設置。後に電子投票システムは経費削減のため取りやめとなった。

議場及び庁舎内を一巡してみても新たな発見が多かった。

議場が傍聴席を含めてフラットであり、市民との距離を少なくしようという配慮であると思う、議場にスクリーンとプロジェクターがあるとICT化は進むであろうし、わかりやすい説明が出来そうである。しかし、言論の場であるので言葉は必要である。

親子傍聴室は、いつでも子供連れで傍聴ができ声を気にすることと予約の心配が無いので、今度の議場にはぜひ欲しいと思った。

難聴者用の貸し出し器具も10台用意されているが今までは3台ほどの貸し出し実績である。

会議室はマイク・スピーカーが部屋全体のシステムとなっていて、集音・拡声の機能が高い。

西日を遮るデザイン、吹き抜け構造により暖気を逃がすこともできる。

免震構造で建設、20年ほどでゴム部分の交換が必要。

来庁舎に配慮がなされ、できる限り下層フロアで大方の要件が処理できる構造である。

設計者の想いのおよりの建築物だと思われるが、木材の使用は少なく白を基調とした室内は事務室的であるが議会フロアは比較的落ち着いた感がある。

全体的によくできた市庁舎であるし、議場と会議室は先進的である。

6 報告書（議長、副議長、各委員）

別添のとおり

7 資料

別添のとおり